

第1回「度島まちづくり塾」の様子

①オリエンテーション



生徒達の緊張をほぐすために、「じゃんけんゲーム」と「指ぬきゲーム」を行いました。普段のじゃんけんも、「私に負けて」や「私にあいこ」などと、ルールを設定すると、いつもやっていることが、とても困難になり、日常生活でも、目線を変えれば、違う発見が有ることに気づいていました。

笑い声も飛び交い、生徒達の緊張は、すぐにほぐれました。

②自己紹介

自己紹介では、自分の名前の由来について、家庭の皆さんに尋ねてきてもらい、7・8年間一緒に過ごしてきた友達も知らないような事があり、みんなでも共有することで、新たな発見もありました。続いて、「度島の良い所」、「度島の課題」についても、予め生徒達に考えてきてもらいました。良いところは、やはり、「伝統」「人情」「自然」等が出されていました。



③ワークショップ（その1）



今回、度島の未来について、ワークショップの形で行いました。ワークショップは、グループ内でそれぞれが意見を出し合い、模造紙などにまとめる作業のことを指します。

ワークショップの内容は、自己紹介でも考えてきてもらった「度島の良い所」、「度島の課題」に加え、「叶えてほしい夢」についてみんなで書き出しました。

③ワークショップ（その2）

ワークショップでは、度島の自然や海を守りたいと言う、大人にも子どもにも共通した、度島の宝が出されました。

また、生徒達から出た意見が、「丸島を世界遺産に！」や、「度島の魚を集めて、水族館を作りたい！」等と、とても柔軟な意見が出されました。

また、おもしろいことに、「度島の伝統」については、「守っていかないといけない」という良い所と、「盆ごうれいが大変」という課題がだされ、一つの事項に対して、両方の効果があると出されました。



④まとめ



今回、「度島まちづくり塾」に取り組んで、初めは、緊張しておとなしかった生徒達も、時間が経つに連れて、どんどん積極的になり、楽しんで、取り組んでいました。

生徒達が、「度島」について真剣に議論し、明るい未来を自分たちで造ると言う気持ちが、表れていました。自発的に意見が出され、限られた時間でしたが、とても充実した、「第1回目」となりました。